

平成 30 年度 事業報告

現在到来している超高齢社会を、みんなが生き生きと活躍し、安心して暮らすことのできる社会にするためには、一人ひとりが健康を維持し、様々な活躍の場があることが求められます。少子高齢化が進展していく中で、将来に必要な労働人口が減少することが懸念されており、働く意欲のある高齢者が、長年培ってきた知識や経験を活かし、年齢に関わりなく活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することがますます重要となっています。

一方で、高齢者の雇用は、企業における希望者全員の 65 歳までの雇用確保の仕組みが整備され、65 歳を超えても働きたい高齢者の就業機会を確保していくことが重要な課題です。

このような中、当センターは、元気な高齢者が社会を支えることを目指して事業を推進しており、その社会的意義は、今後ますます高まっていくと考えられますが、ここ数年は会員数が減少する状況に陥っており、会員の増強を重要課題と位置づけ、センターの魅力や働くことの社会的価値を広く市民に発信し、入会者を獲得して社会の担い手の拡大に努めてまいりましたが、会員数は、前年度より 39 名減の 1,331 名となりました。

センターは、会員によって自主的に運営する団体であり、組織を維持し発展させるためには、会員一人ひとりが組織運営に積極的に参画し協力することだと考えられます。このことから、将来展望をふまえ「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、会員及び役職員が一団結して事業に取り組んでまいりました。

本年度においては、受託事業における実績額は、前年度に比べ 30,329 千円の減で 528,557 千円、シルバー派遣事業における実績額は、前年度に比べ 20,075 千円の増で 190,475 千円となり、受託事業を合わせた実績額は、前年度に比べ 1.4% 減の 719,032 千円となりました。

一方、収支決算では、事務手数料(事務費)の改定による収益の増、シルバー派遣事業の実績が増加したことによる手数料の増、及び事務執行管理費の抑制に努めたことなどにより、当期収支差額が 29,156 千円となりました。

以下、事業実績等についてその概要を報告いたします。

■法人の状況に関する重要な事項

I シルバー人材センター事業（公益目的事業）

1 高齢者の生きがいと社会参加の促進

高齢者の生きがいと福祉の向上を図り、活力ある地域社会づくりに寄与するため、高齢者の入会促進に努め、又、就業上必要な技能及び知識を付与することにより、高齢者の能力や希望を生かした就業機会等を実現し、多様なニーズ

に応えました。

(1) 会員の入会促進事業

高齢者の入会を促進するために、入会説明会を毎月2回実施し、191人の方が入会しましたが退会者が230人となり、会員数は前年度より39人少ない1,331人となりました。

(2) 受託及びシルバー派遣事業

公共、公社公団、民間企業、一般家庭などへ、会員の豊富な経験や能力を生かせる就業機会の開拓に努め、会員の皆さんにそれぞれの希望や能力に応じた就業提供を行いました。

① 受託事業

契約件数は、11,797件(△6.4%)で前年度と比較し800件の減となり、また、就業延人員は、105,546人(△9.4%)で前年度と比較して10,936人の減となりました。契約金額は、528,557千円で、前年度と比較し30,329千円(△5.4%)の減となりました。

② シルバー派遣事業

契約件数は、271件(12.0%)で前年度と比較し29件の増となり、また、就業延人員は、38,635人(10.4%)で前年度と比較して3,647人の増となりました。契約金額は、190,475千円で、前年度と比較し20,075千円(11.8%)の増となりました。

③ 合 計

就業延人員	144,181人	(前年度比	△4.8%)
契約金額	719,032千円	(前年度比	△1.4%)

(3) 講習会等の推進事業

生きがいや社会参加のため、就業を希望する高齢者を対象に、シルバー人材センターで就業が見込める技能・知識の講習を行い、就業機会の実現に努めました。

① 剪定班ランクアップ研修を2回実施、10名がランクアップ

② 剪定班実技講習会を1回実施、6名が受講

③ シルバーふれあい教室では、新しい教室の実施に向け、スキルアップ研修を4回実施、延べ46名が受講

(5) 相談支援事業

高齢者ニーズ（就業、ボランティア活動等）に関する相談、情報提供を行うことにより、高齢者の能力や希望を生かした就業等の社会参加活動を推進しました。

- ① なんでも相談を毎月第1・3火曜日に実施、延べ18人の相談を受け、就業提供等を行いました。

2 普及啓発と就業機会の確保・拡大

(1) 普及啓発事業

センター事業が各界各層に正しく理解されるよう、普及啓発活動を積極的に推進しました。

- ① 問屋町「日曜日」で普及啓発活動を2回行い、就業開拓や入会案内パンフレット等を配布するとともに、シルバー花の土を先着300人(合計600人)にプレゼントしました。
- ② 会報誌「シルバーとくしま」を年3回発行し、会員及び各団体にセンター活動の情報を提供しました。

(2) 就業機会の確保・拡大事業

新規事業や新たな職種の拡大を目的として、就業開拓・促進委員会、安全・適正就業委員会、地域班等により広く意見を求め、会員の運営参画による事業運営の推進に努めました。

- ① 就業開拓・促進委員会を年3回開催し、就業機会の更なる拡大を図ることを目的とした会員組織の再編成の原案を作成しました。
- ② ホームページにより就業情報を提供し就業に繋げました。

(3) 福祉・家事援助事業

介護保険制度の改定により、センターのライフサポートサービス事業で担う役割は、年々大きくなっています。健康な高齢者が福祉・家事援助サービスを必要とする高齢者や病弱者等に提供するサービスを実施しました。

契約件数は、1,953件（△7.9%）で前年度と比較し168件の減となり、また、就業延人員は、10,047人（△5.5%）で前年度と比較し583人の減となりました。契約金額は、26,721千円（△3.1%）で前年度と比較し850千円の減となりました。

(4) 女性活動活性化事業

センターにおける女性会員の活動の充実や活性化に関する事項を協議、検討し、その対策を推進するため、次の事業を実施しました。

- ① 女性活動推進委員会を年1回開催しました。
- ② 女性活動推進員が、問屋町日曜日にて、シルバー事業のPRや女性会員の入会促進活動を行いました。
- ③ 「シルバー手作りふれあい教室」は、学童保育クラブ等に会員が訪問し、工作、バルーンアート作り、英語、手品などの教室を用意し、夏休み・冬休み・春休みの期間に22回実施しました。
- ④ 「地域ふれあい教室」として、センター多目的室を日曜日に6回開放し、地域の方と楽しみながら交流し、工作などの教室を実施しました。

3 安全・適正就業の推進

会員の就業にあたっては安全就業を最優先し、各種安全啓発活動を通して会員の安全就業を推進しました。また、就業内容や就業形態については、適正な内容での受注を行いました。

(1) 安全就業推進事業

センター事業の運営において、会員の安全就業が最重要課題であり、会員の就業中の傷害・賠償事故及び就業途上における事故の防止対策等について、安全・適正就業委員会を中核に下記の事業に取り組みました。

- ① 委員会を4回開催し、事故原因の分析と防止策の検討や事故防止の啓発活動を実施するとともに、就業現場の巡回指導を3回実施し安全就業の指導に努めましたが、損害賠償事故が前年度に比べ7件の増となり、今後の検討課題となりました。

○会員傷害・損害賠償事故発生状況 (単位:件)

区 分		H28年度	H29年度	H30年度
傷害 事故	就業中	5	8	12
	途 上	5	2	2
	計	10	10	14
損害賠償		5	3	10
合 計		15	13	24

- ② 安全研修としては、入会受付時に安全就業のビデオを放映し、これから就業に付くための安全就業の意識の向上を図りました。

- ③ 安全運転講習を実施し、就業会員6名が座学と実技を学び安全運転での就業に努めました。
- ④ 厚生労働省通達による「刈払機取扱作業者に対する安全教育」を、新たに5名会員が受講し、草刈機取扱作業者を取得しました。
- ⑤ 啓発活動としては、会報誌に事故内容等を掲載し、安全意識の向上を図りました。

(2) 適正就業推進事業

受託事業及びシルバー派遣事業の就業における内容や形態は、適正就業ガイドラインを基本として受注し、公平・公正な就業提供を行い、コンプライアンスを徹底し、安全・適正就業委員会を中核に、下記の事業に取り組みました。

- ① 委員会を4回開催し、適正な就業に基づき、ローテーション就業やグループ就業に努めました。
- ② 分かち合い就業に関する要綱に基づき、公共、公社・公団事業の就業場所の情報を提供し、選考基準に基づき47名が就業しました。
- ③ 適正就業ガイドラインのパンフレットを、会員及び発注者に配布し、適正な就業について周知を図りました。

4 組織体制の充実強化

センターの理念である「自主・自立、共働・共助」を基本とし、会員による自主的な組織運営を促進しました。

(1) 地区組織活性化事業

- ① 地区組織活動の活性化を図るため、地区長委員会を1回開催すると共に、年1回の地区総会を自主的に開催し、センター情報の提供や会員相互の意見交換を行い組織活動の充実を図りました。
- ② 出席率40%の目標を掲げ、地区総会では1地区、ボランティア活動では1地区が達成しました。

(2) 職域班組織活性化事業

- ① 職域班組織活動の活性化を推進するために、剪定班では年1回の総会及びボランティア活動を実施し、班員同士が情報を共有し班組織活動の充実を図りました。
- ③ 剪定班ランクアップ研修会を2回、剪定班実技講習会を1回実施し、安全就業の徹底や技能・知識の向上に努めました。

5 指定管理者業務の推進

徳島市立考古資料館の指定管理者として、業務を推進しました。

6 その他

(1) 徳島県シルバー人材センター連合会が行う下記事業に参画しました。

- ・ シルバー派遣事業
- ・ 有料職業紹介事業
- ・ 役職員研修
- ・ 調査研究事業
- ・ 普及啓発活動事業
- ・ 安全・適正就業推進事業
- ・ 高年齢者活躍人材育成事業
- ・ 災害ボランティアネットワーク事業

(2) 全シ協、四シ協主催の研修に参画しました。

II 法人管理

1 諸会議の開催

センターの管理運営及び事業運営の執行に関して必要な会議を、次のとおり開催しました。

会 議 名	開催回数
定時総会	年 1 回
理事会	年 6 回

2 センター事務局機能の充実

公益社団法人としての適正な事業運営と円滑な事業推進を図るため、各種研修会、講習会に参加し、センター職員の資質向上に努めました。

Ⅲ 事業実績報告

1 会員数

(単位:人)

区 分	H30 年度 A	H29 年度 B	差引 (A-B)	伸率(%)	構 成 比 %		
					H30	H29	
会員数	1,331	1,370	△39	△2.8	100.0	100.0	
内 訳	男性	817	860	△43	△5.0	61.4	62.8
	女性	514	510	4	0.8	38.6	37.2

(会員数は年度末数値)

2 受託事業会員就業動向

(単位:人)

区 分	H30 年度 A	H29 年度 B	差 引 (A-B)	伸 率 %
就 業 実 人 員	803	883	△80	△9.1
就 業 延 実 人 員	20,201	21,711	△1,510	△7.0
就 業 延 人 員	105,546	116,482	△10,936	△9.4
就 業 率	60.3	64.5	△4.3	△6.7
一件当りの就業日数	5.2	5.4	△0.2	△3.7

※ 就業率 = (就業実人員 ÷ 会員数) × 100

※ 就業一件当りの就業日数 = 就業延人員 ÷ 延実人員

3 受託事業契約動向

(単位:千円)

区 分	H30 年度 A	H29 年度 B	差引 (A-B)	伸 率 %	構 成 比 %		
					H30	H29	
契 約 件 数	11,797	12,597	△710	△6.4	100.0	100.0	
内 訳	公 共	1,997	2,138	△141	△6.6	16.9	17.0
	民 間	9,800	10,459	△659	△6.3	83.1	83.0
契 約 金 額	528,557	558,886	△30,329	△5.4	100.0	100.0	
内 訳	公 共	176,248	185,018	△8,770	△4.7	33.3	33.1
	民 間	352,309	373,868	△21,559	△5.8	66.7	66.9

※ 契約件数は月1件の累計数値

4 受託事業職業別実績

(単位：円)

職 業	契 約 件 数	就業延人員 (人)	契 約 金 額	構 成 比 (%)		
				契 約 件 数	就業延人員	契 約 金 額
管 理 的	0	0	0	0.0	0.0	0.0
専 門 的・技 術 的	159	1,365	11,815,135	1.4	1.3	2.2
事 務 的	110	962	6,806,297	0.9	0.9	1.3
販 売	12	46	55,200	0.1	0.0	0.0
サ ー ビ ス	2,544	23,369	108,525,677	21.6	22.1	20.5
保 安	1	3	7,073	0.0	0.0	0.0
農 林 漁 業	2,118	6,722	74,530,530	18.0	6.4	14.1
生 産 工 程	311	6,646	15,160,443	2.6	6.3	2.9
輸 送・機 械 運 転	0	0	0	0.0	0.0	0.0
建 設・採 掘	110	399	7,614,005	0.9	0.4	1.4
運 搬・清 掃・包 装 等	6,432	66,034	304,042,775	54.5	62.6	57.5
計	11,797	105,546	528,557,135	100.0	100.0	100.0

5 受託事業会員就業配分金動向

(単位：円)

区 分	H30年度 A	H29年度 B	差 引 (A-B)	伸 率 %
配 分 金	386,386,371	430,884,066	△44,497,695	△10.3
会員就業1日当り 平均配分金(円)	3,661	3,699	△38	△1.0

※ 会員就業1日当り平均配分金＝配分金÷就業延人員

6 シルバー派遣事業職業別実績

(単位：円)

職 業	契約 件数	延人員 (日)	会員賃金 A	手数料等 B	合 計 (A+B)
管 理 的	0	0	0	0	0
専 門 的 ・ 技 術 的	0	0	0	0	0
事 務 的	9	560	2,350,701	625,689	2,976,390
販 売	18	574	2,558,120	704,240	3,262,360
サ ー ビ ス	95	20,019	76,942,915	20,125,983	97,068,898
保 安	0	0	0	0	0
農 林 漁 業	10	1,581	7,638,242	2,089,721	9,727,963
生 産 工 程	18	3,269	16,757,147	3,818,423	17,575,570
輸 送 ・ 機 械 運 転	23	2,239	8,888,892	2,496,052	11,384,944
建 設 ・ 採 掘	1	218	536,280	129,774	666,054
運 搬 ・ 清 掃 ・ 包 装 等	97	10,175	37,391,743	10,421,080	47,812,823
計	271	38,635	150,064,040	40,410,962	190,475,002

※ 契約件数=年度期間中に契約及び契約更新を行った件数

7 シルバー派遣事業会員賃金動向

(単位：円)

区 分	H30 年度 A	H29 年度 B	差 引 (A-B)	伸 率 %
会 員 賃 金	150,064,040	134,349,730	15,714,310	11.7
会員就業1日当り 平均賃金(円)	3,844	3,840	4	0.1

※ 会員就業1日当り平均賃金=会員賃金÷就業延人員

8 有料職業紹介事業実績

項目 業務等	求 人				求 職		
	有 効 求 人 数	常 用 求 人 数	臨 時 求 人 延 数	日 雇 求 人 延 数	常 用 就 職 件 数	臨 時 就 職 延 数	日 雇 就 職 延 数
〇〇職業	0	0	0	0	0	0	0

■業務の適正を確保するための体制の整備に関する事項

(一般社団(財団)法人の事業報告の内容について定める法人法施行規則第34条第2項第2号(第64条)より)

1. 理事及び職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制の運用状況

- ・改正個人情報保護法に関する県シ連合会主催の研修会に参加し、理事及び職員間で情報共有した。
- ・理事会は、法令・定款及び理事会運営規則等に従い、重要事項を決定するとともに、理事の職務の執行を監督した。

2. 理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する事項

- ・理事の職務執行は、法令及び定款等に基づいて行われ、その職務執行に係る情報は、法令等に基づき理事会議事録に記録され、その記録の保存・管理は、法令等に基づき適切に保存及び管理している。

3. 業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要

内部の統制については、重要な不備がないかを確認している。

平成30年度事業報告の附属明細書

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和元年5月

公益社団法人徳島市シルバー人材センター